

5月31日(水) スケッチの会 「江戸東京たてももの園」

心配していた雨が明け方に上り、武蔵小金井の「江戸東京たてももの園」で、第 178 回例会を実施しました。しかしながら、曇りで建物に影が出ないという描きにくい状況ではありました。参加者は 6 名でしたが、初体験の新人 1 名とお試し体験者 1 名で、明るい希望が持てました。

ここには広大な敷地に 30 棟の家屋が移築保存されていて、犬山市の明治村の洋館群と違って、往時の庶民の生活が偲ばれノスタルジアに溢れています。昭和の建物好きの絵描きにはこたえられません。

お試し体験会は先生こそいませんが、水彩を初めたころの失敗や経験で積み重ねたノウハウで導入させていただきます。特に 2 点を推奨しています。① イーゼルの使用。初めに一番苦勞するデッサン(素描)は、対象を指や筆で計測して平行移動し描き写すことで相当程度クリアできます。② 水彩紙と絵具と筆で一番重要なのは水彩紙だとされています。定評のある水彩紙を使うことにより、技術の向上に紙が応えてくれることでしょう。

絵は良い趣味だと言われます。区外からも会員を募集していますので、ご興味のある方はぜひお試し体験会に手ぶらで参加下さい。(お申し込みは HP TOP 下の FormMail より)次回の例会は7月19日(水)に「人物—民族衣装」([PDF](#))です。

世話人 三宅正彦

